2027年3月期(2026年度)第2四半期
決算説明会資料

2026年11月4日
住友ベークライト株式会社
代表取締役社長　鍛治屋 伸一

SUMITOMO BAKELITE CO.,LTD.

2027年3月期(2026年度)第2四半期
決算概要

2027年3月期第2四半期　連結業績　（前年との比較）

SUMITOMO BAKELITE CO.,LTD.

（金額単位：億円）

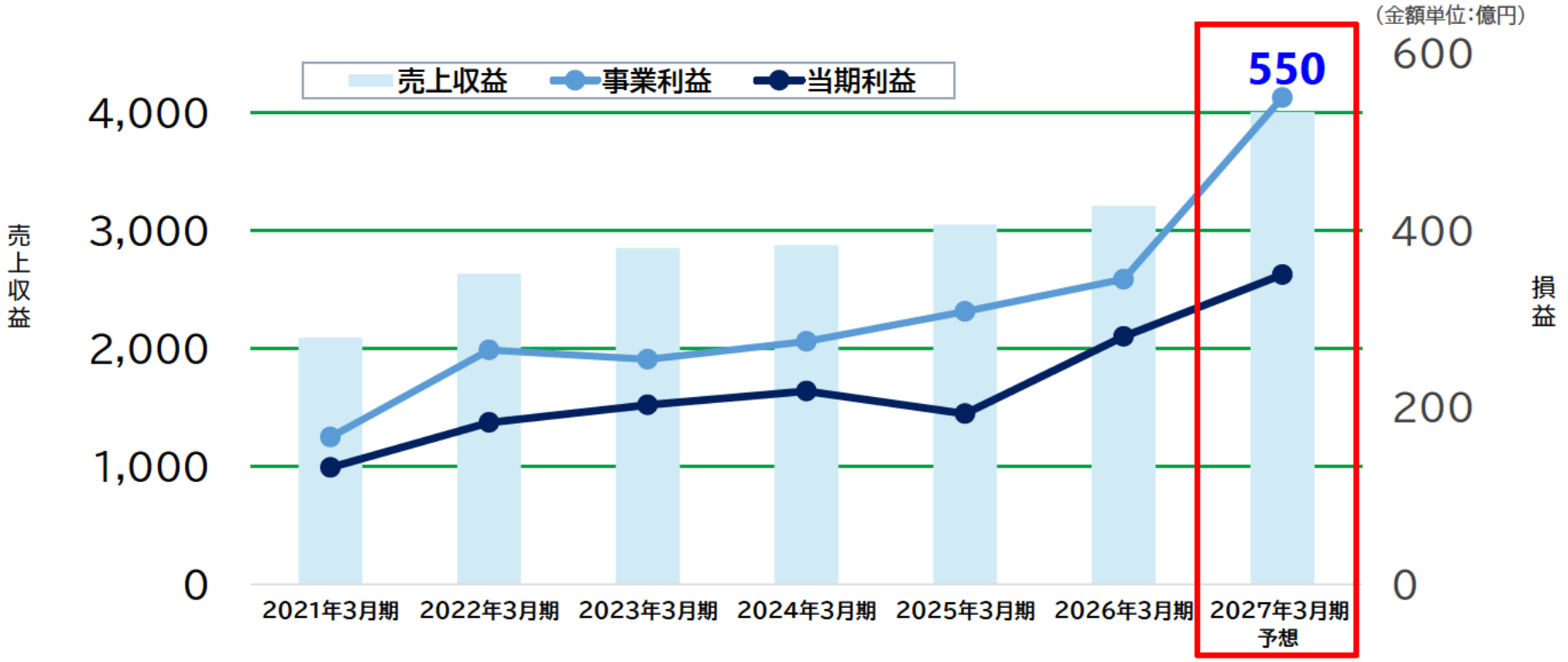
	2026年3月期 第2四半期 実績①	2027年3月期 第2四半期 実績②	前年同期比較	
			金額（②-①）	増減率
売上収益	1,565	1,920	355	22.7%
事業利益	171	281	110	64.1%
営業利益	165	260	95	57.9%
当期利益	133	196	63	47.2%

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除したベース
「当期利益」は親会社所有者に帰属する中間利益

為替レート	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期
USD（¥/$）	146.57	160.02
EUR（¥/€）	167.74	184.39

売上収益・損益 （年度推移）

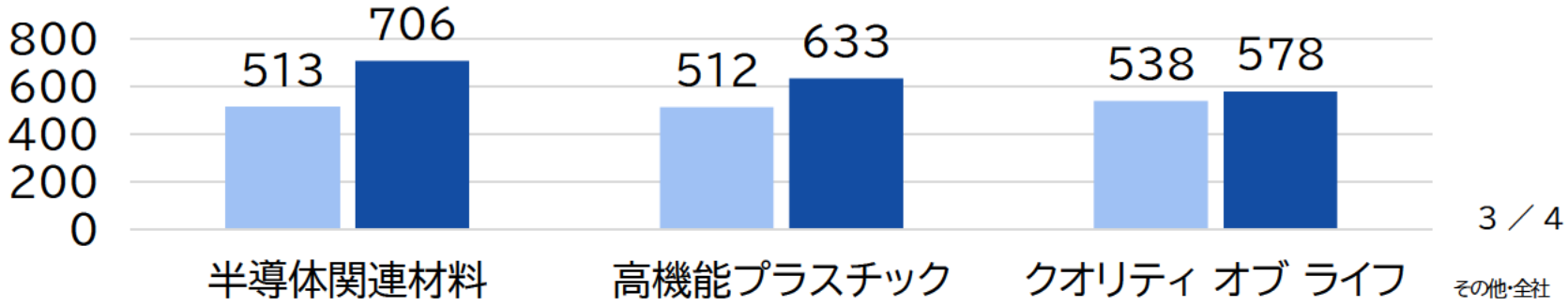
「2030年ありたい姿」で掲げた事業利益550億円を4年前倒しで達成へ



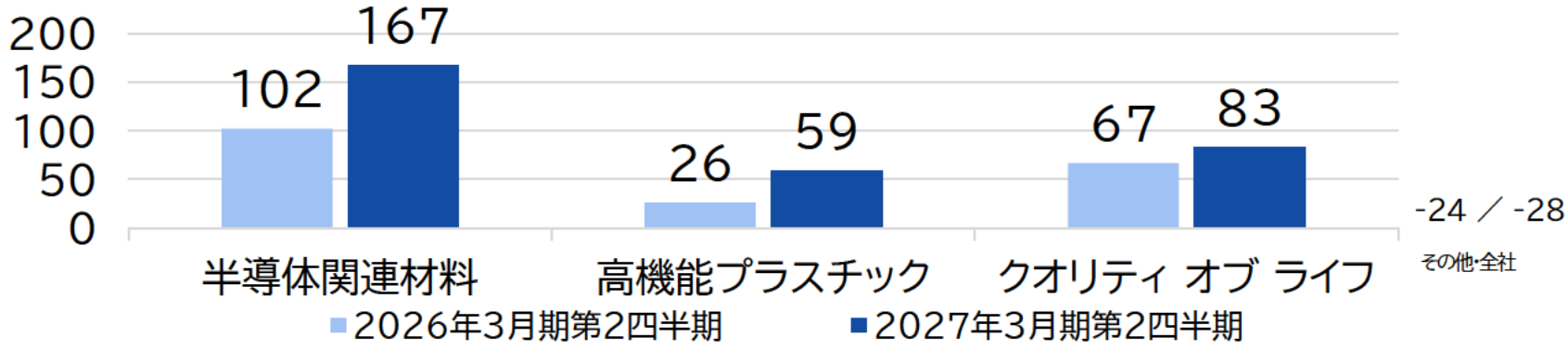
事業セグメント別業績比較(前年との比較)

(金額単位:億円)

売 上 収 益

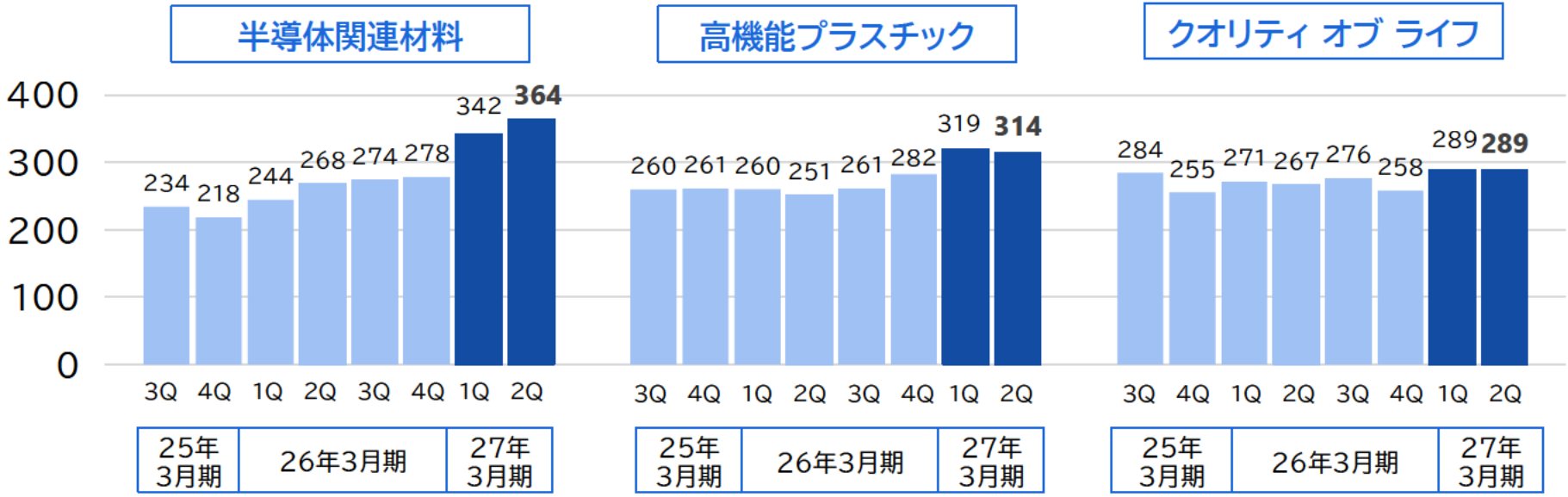


事 業 利 益



事業セグメント別 四半期販売推移

（金額単位：億円）



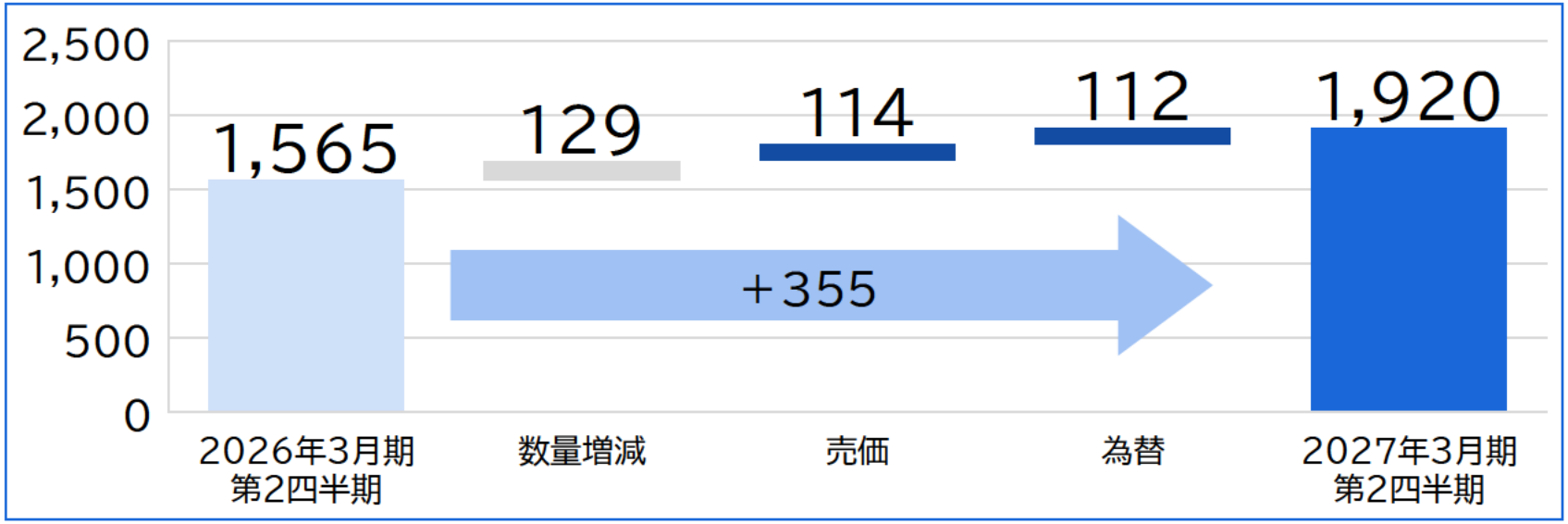
■半導体関連材料　：AIサーバー（パワー、メモリー）向け中心に拡大継続、
低軌道通信衛星（LEO）向けPLP用顆粒封止材も販売立ち上がり

■高機能プラスチック　：アジアを中心に好調に推移
製品別では、COPLUSや放熱シートなどの高付加価値の新製品の拡販進む

■クオリティ オブ ライフ　：半導体市況の好調や医薬品業界での顧客増産・在庫確保を背景に
産業用・医薬品包装などのフィルム・シートを中心として堅調に推移

売上収益増減要因(前年との比較)

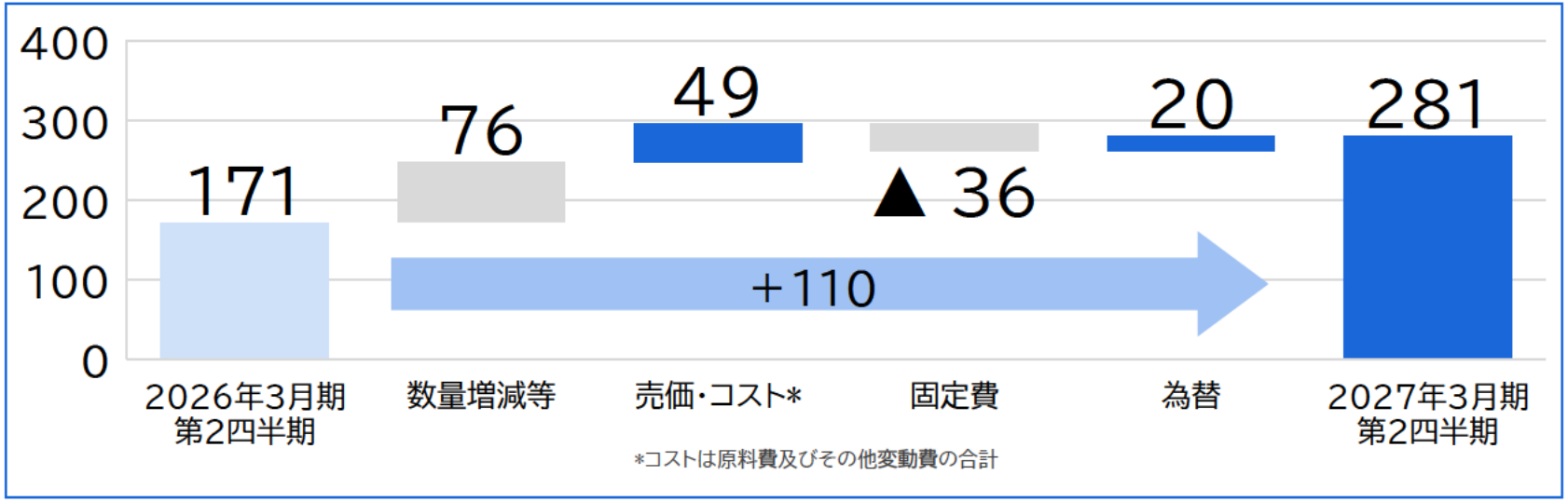
(金額単位:億円)



セグメント別	数量増減	売価	為替	合計
半導体関連材料	+90	+44	+60	+193
高機能プラスチック	+32	+45	+44	+122
クオリティ オブ ライフ	+6	+25	+8	+40

事業利益増減要因(前年との比較)

(金額単位:億円)



セグメント別	数量増減等	売価・コスト*	固定費	為替	合計
半導体関連材料	+56	+15	▲20	+14	+65
高機能プラスチック	+19	+19	▲9	+5	+33
クオリティ オブ ライフ	+1	+16	▲2	+1	+16
その他	+1	0	▲5	+0	▲4

2027年3月期(2026年度)
通期業績予想
※2026年10月30日発表と同じ

2026年3月期 通期 連結業績予想

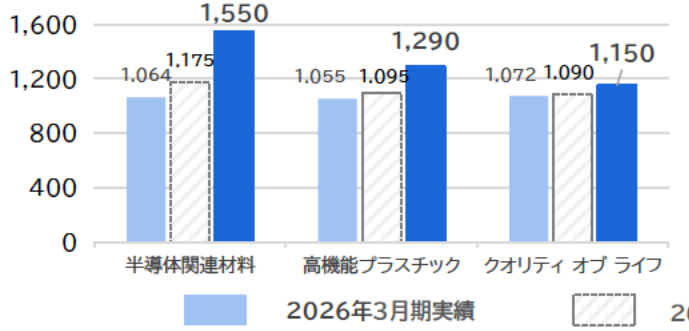
SUMITOMO BAKELITE CO.,LTD.

（金額単位：億円）

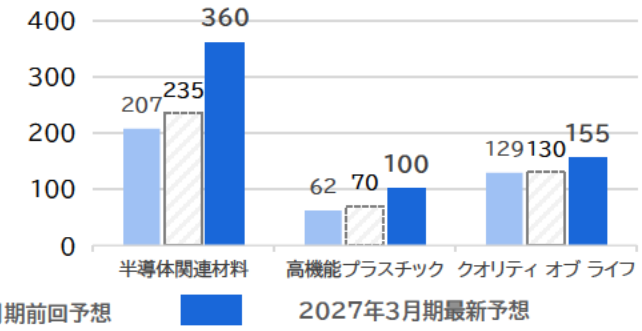
	2026年3月期 実績	2027年3月期 前回予想① ※2026年5月11日発表	2027年3月期 最新予想② ※2026年10月30日発表	前回予想比較	
				金額(②-①)	増減率
為替(円/USD)	150.97	155.00	160.00	-	-
売上収益	3,199	3,370	**4,000**	630	18.7%
うちSBCS	-	-	120	120	
事業利益	345	380	**550**	170	44.7%
うちSBCS	-	-	10	10	
営業利益	355	375	**500**	125	33.3%
当期利益	280	285	**350**	65	22.8%

※「SBCS」は、住友ベークライトケミカルソリューション株式会社。京セラ㈱のケミカル事業の一部を承継した新設会社。
※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除したベース。「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

セグメント別売上収益



セグメント別事業利益



2026年3月期実績　2027年3月期前回予想　2027年3月期最新予想

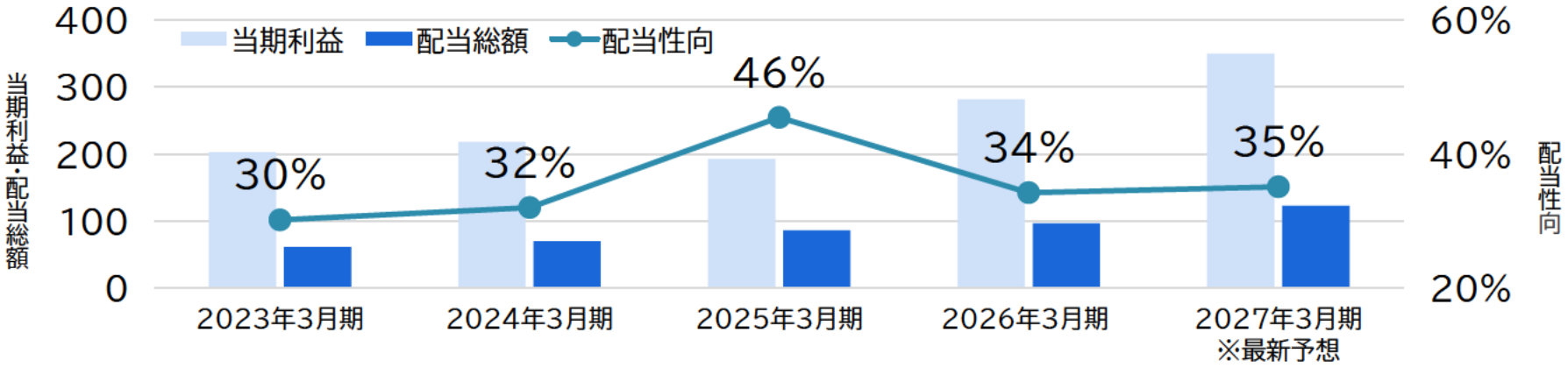
株主還元

SUMITOMO BAKELITE CO.,LTD.

■ 年間配当予想：140円／株（中間70円・期末70円）

1株当たり配当予想は期初予想から20円増配（前期からは30円増配）

（金額単位：億円）



安定的かつ継続的に利益を還元する

配当金（円/株）※1	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期（期初予想）	2027年3月期（最新予想）※10月30日発表
中間配当	30.00	35.00	45.00	50.00	60.00	**70.00**
期末配当	35.00	40.00	50.00※2	60.00	60.00	**70.00**
年間配当	**65.00**	**75.00**	**95.00**	**110.00**	120.00	**140.00**

※1：2024年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記の配当金（円/株）は、2023年3月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。
※2：創立70周年（2025年3月1日）記念配当5円を含みます。

各セグメントの
上期総括/下期の見通し、取組み

半導体関連材料【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位:億円

	事業利益	売上収益
上期実績	167	706
進捗率	46%	46%
通期予想 (見直し後)	360	1,550

上期の総括

■AIサーバー向け(パワー・メモリー等)で需要が急増

■中国・東南アジア地区で拡大する需要への対応
- (中国)更なる需要拡大へ　新ライン増設を決定(28年末～)
- (東南アジア)車載回復、AI関連増へ 2拠点(シンガポール・台湾)構想で対応

■AI半導体:液状封止材の顧客評価開始



左:顆粒封止材　右:MUF材

下期の見通し、取組み

■京セラの譲受事業とのシナジー創出

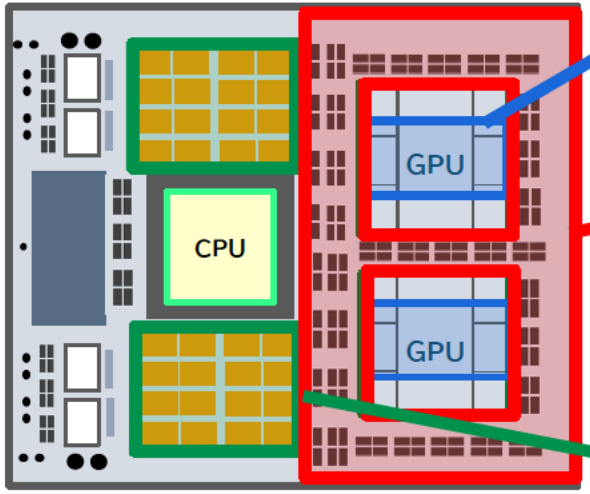
■AI、宇宙衛星用の需要拡大、MUF/顆粒のグローバル供給体制強化
- 京セララインの活用、蘇州(FY28～)・シンガポール(FY30～)で新ライン増設

■熱マネジメントのニーズに対応する高熱伝導材の販売拡大

■ヒューマノイドロボット用封止材のグローバル商流の開拓

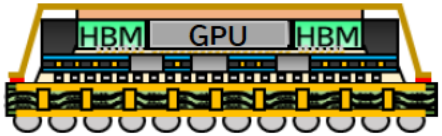
半導体関連材料【トピックス①】

京セラのケミカル事業譲受:
10月末クロージング完了
新会社「住友ベークライトケミカルソリューション」発足
11月度より連結対象化、業績貢献



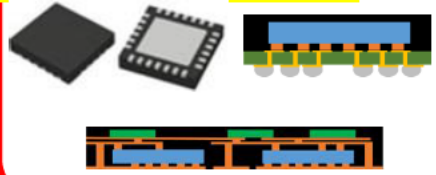
最先端パッケージ

京セラシナジー



高熱伝導
顆粒/MUF・ペースト

パワーデバイス



高熱伝導
顆粒/MUF・ペースト

メモリー



高熱伝導
顆粒/MUF

京セラの高熱伝導技術の融合で、AIサーバー用材料開発加速

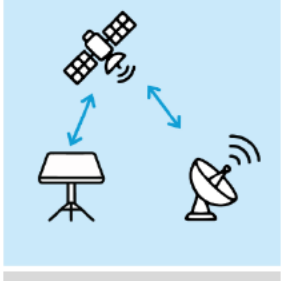
半導体関連材料【トピックス②】

宇宙AI時代の幕開け：2035年 300兆円の巨大市場へ

低軌道通信衛星（LEO）爆発的増加
2030年 3－4万基
地上受信アンテナ等 インフラ需要

⇒

最先端 通信・AIチップ
衛星1基 2万個超 搭載
⇒ 先端封止材需要 数千トン/年



通信衛星と受信アンテナ

LEOインターネット市場は急拡大： 受信アンテナ数は2025～30年に4倍へ

RFデバイス注への顧客のニーズ：
- 高速で動く衛星と効率よく通信したい
- 高周波シグナルを効率よく処理したい
- 安く、大量に生産したい

注）RFデバイス：無線通信の高周波信号を送受信・処理するデバイス

⇒

解決策：
Fan-In/Out構造※のパッケージを
大判PLP工法で大量生産

※伝送距離が短く、誘電損失が低い

実績豊富な当社顆粒封止材がディファクト材として採用、下期から販売本格化
顧客が米国大手航空宇宙企業と長期契約を締結

新たな巨大市場にて グローバルスタンダード を獲得へ

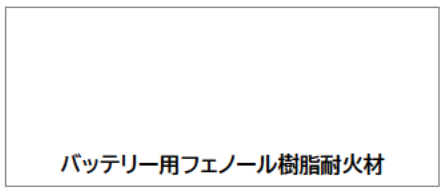
高機能プラスチック【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位:億円

	事業利益	売上収益
上期実績	59	633
進捗率	59%	49%
通期予想 (見直し後)	100	1,290



高電圧化トレンドに対応した
高耐熱・高耐トラッキング性材料例



バッテリー用フェノール樹脂耐火材

上期の総括

■北米を中心にグローバルで構造改革を推進

■中東情勢不安による一部前倒し需要あるが、アジアは好調継続

■COPLUS®は先端半導体、ディスプレイ用途等で順調に拡大

■航空機部品は需要回復の進展と補修製品市場への拡販進む

下期の見通し、取組み

■グローバルで更なる収益性改善を推進

・北米拠点の集約:ケントン工場の閉鎖を決定

■上期需要先取り反動による在庫調整を見込む

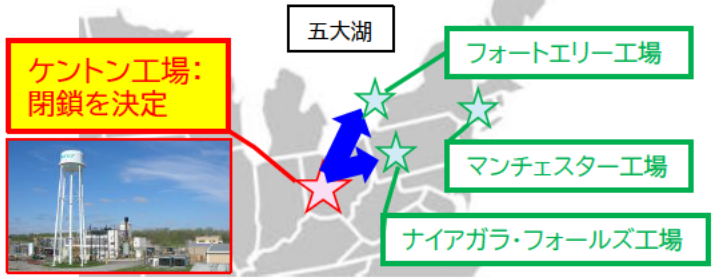
■高付加価値新製品の採用増、販売拡大推進

・放熱絶縁シート、AQNOA®、高耐熱・高耐トラッキング材料、耐火材料等

高機能プラスチック【トピックス】

北米フェノール関連事業の構造改革

北米拠点の集約：4拠点→3拠点生産体制へ



2024年度～ ：生産性向上、固定費削減、値上・不採算製品撤退等ポートフォリオ改革実行

2026年度 ：北米フェノール関連事業、通期黒字化に道筋
ケントン工場の閉鎖を決定
⇒北米他拠点へ順次生産移管予定

2029年度 ：工場閉鎖完了予定

北米市場における
長期的な競争力の確保と持続可能な事業基盤を構築

既存の壁を打ち破る2つの革新的ポリマー

半導体関連：COPLUS®

2030年度目標
売上収益50億円

COPLUS

独自のモノマー技術を生かした高耐熱かつ透明な樹脂
分子設計自由度が高く、さまざまな機能をプラス（PLUS）

先端半導体用途を中心に順調に販売拡大、
生産能力拡大など安定供給体制を構築

環境対応：AQNOA®

AQNOA

2030年度目標
売上収益15億円



＊当社調べ2026年4月

欧・米・アジア各拠点で展開
ラインナップ拡充で用途拡大
（建築材料、水性塗料・接着剤、半導体関連等）

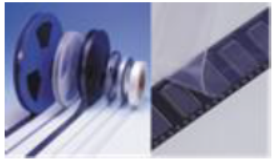
クオリティオブライフ関連製品【上期の総括/下期の見通し、取組み】

単位:億円

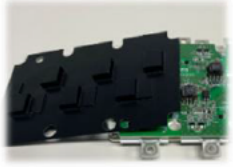
	事業利益	売上収益
上期実績	83	578
進捗率	53%	50%
通期予想 (見直し後)	155	1,150



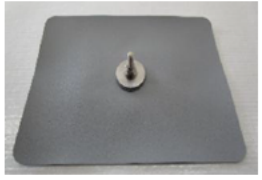
ステアリング
マイクロカテーテル



カバーテープ



難燃ポリカーボネート
絶縁シート



ソーラー防水一体型
ソーラーアンカー

上期の総括

■【ヘルスケア】 低侵襲医療機器の拡販強化、生産能力増強
・消化管ステント、ステアリングマイクロカテーテル

■【フィルム・シート】 産業用の拡販進展、医薬品包装で
ジェネリックメーカー増産、需要の一部前倒し

■【産業機能性材料】車載用光学、絶縁用途好調継続

■【防水関連】 大手ハウスメーカー向けリフォーム用途伸長

下期の見通し、取組み

■【ヘルスケア】オリンパス協業による消化管ステント(大腸・十二指腸)の
更なる拡販強化

■【フィルム・シート】 反動減が見込まれるも、各分野で堅調に推移

■【産業機能性材料】AGCシナジー発現による高機能分野の拡販加速

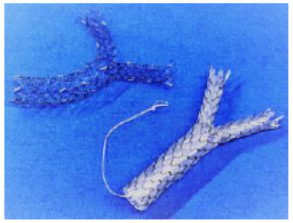
■【防水関連】一般建築用環境対応製品(高耐久、ソーラーアンカー等)拡販

クオリティオブライフ関連製品【トピックス】

ヘルスケア

・世界初*のY字胆管ステント（保険収載済み）上市へ
＊当社調べ2026年9月

**手術時間の短縮、
手術成功率の向上に貢献**



Y字胆管ステント

産業機能性材料

・AGCから光学シート生産ラインの移管が完了
同社のプロセス技術でシナジー発現

**HUD用光学シートの拡販加速
世界№1サプライヤーへ**



車載ヘッドアップディスプレイ
（HUD）向け光学シート

フィルム・シート

・モノマテリアルPTPの実績拡大に向けて、
欧州市場での顧客へのサンプル展開を加速

環境対応製品でグローバル市場展開





モノマテリアルPTP

防水関連

・リフォーム需要増に対応して、営業・工場体制を確立

**高耐久防水システムの標準化で
高寿命化、CO2削減に貢献**



高耐久防水システム

SUMITOMO BAKELITE CO., LTD.

https://www.sumibe.co.jp/

免責事項について

当社は、本資料の情報がお客様にとって有用なものとなるよう努めておりますが、特定の用途における正確性や妥当性を保証するものではありません。ご利用にあたっては、関連する用途との適合性や安全性を別途ご検証ください。また、本資料に含まれるいかなる事項も、知的財産権等に関する助言や許可を与えるものではありません。

著作権について

本資料の著作権は、特に断りのない限り、当社またその関連会社に帰属します。当社の許可なく、本資料を無断で複製または転用等をすることを禁止しております。

会社名の表記方法について

本資料における会社名の表記にあたっては、「株式会社」等の表記を省略している場合があります。